

関宿のいいところ6選



関宿は昔から豊かな水を利用したお米作りが盛んです。もともと水の流れが悪く「悪水」と呼ばれるほど水が溜まりやすい土地でした。しかし「関宿落堀」と呼ばれる水路を整備し、お米がたくさん取れるように工夫しました。現在でもお米がたくさん取れるように工夫をしています。特に力を入れているのは黒酢米で、農薬の代わりに黒酢を散布して作ります。野田のブランド米として有名です。



関宿は稲作だけでなく、酪農も盛んです。酪農が盛んになる前は、稲作と養蚕業を営んでいる家が多かったです。戦後、鈴木貴太郎さんと奥さんのタカさんの薦めで、段々と牛を飼う人が増えてきました。集乳場を整えたり、利根川の土手に牧草地を作ったりしました。今でも牧場が多数あり、牛を育て、おいしい牛乳を出荷しています。



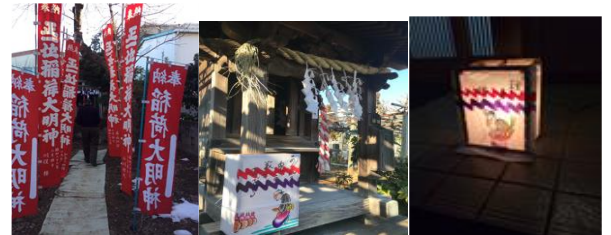
はやま工業団地にある大成機械工業では、麺を作る機械を作っています。麺を作る機械は全国のうどん屋さんで使われています。その機械の良さを伝えるために「久世うどん」を作っています。関宿にゆかりのある「久世氏」から名前を付けられました。久世うどんは関宿の地域で食べることができます。



関宿には神社やお寺がたくさんあります。その一つのお寺が「実相寺」です。実相寺には鈴木貴太郎さん、奥さんのタカさん、兄弟の方のお墓があります。また、水子観音様もあります。水子観音様は、不幸にも生まれてくる前にお母さんのお腹の中で亡くなった赤子が、仏様の慈悲で仏の世界へ行けるよう、そして私たちを見守ってくださるようお願いを込めて建てられました。



関宿は、関東平野の真ん中にあります。昔から関東要害の地と言われ、交通などの重要な場所になっていました。戦国時代は小田原に本拠を置く後北条氏の出城として重要視されていました。江戸時代は関宿藩として栄えました。特に河川の管理や、関所を作り交通に関することに力を入れていました。現在お城はありませんが、関宿城博物館に当時のことがわかる資料が展示されています。



関宿では、様々な年中行事が今でも大切に受け継がれています。例えば立春の後の午の日に稲荷を祭る「初午」があります。これは五穀豊穡、商売繁盛、家内安全を願って近所の稲荷神社に集まり、太鼓を叩いたり参拝したりして盛大に行われます。他にも「年豆おくれ」という行事もあります。これは節分の晩に無病息災を願って行われ、家々を回って「年豆おくれ。」と言って、年豆やお菓子などをもらいます。

制作：令和2年度千葉県野田市立関宿小学校4年生25名

〒270-0202 千葉県野田市関宿台町171番地 TEL 04-7196-0112 FAX04-7196-4831

ホームページ <https://schit.net/noda/essekiyado/>

協力（敬称略）香取神社 光岳寺 実相寺 昌福寺 宗英寺 すし常（有）大成機械工業 千葉県立関宿城博物館

野田市教育委員会 野田市鈴木貴太郎記念館 野田市関宿商工会 野田市立関宿中学校 渡邊牧場

印刷（有）飯島印刷サービス